

スケートボードパーク整備事業について

東京2020大会のレガシーとして、夢の島総合運動場にこどもから大人まで誰もが安心して楽しめる初中級者向けのスケートボードパークを整備する。

1 整備概要

(1) 場所

夢の島総合運動場内（夢の島一丁目）北側

(2) 面積

約 2,400 m² （内訳） 初級者用：約 650 m²
中級者用：約 1,450 m²
管理部分：約 300 m²

(3) 施設内容（予定）

① コース

コンクリート製セクション12箇所
鋼製セクション2箇所

② 管理棟

床面積約 20 m²（倉庫 2 m²）、プレハブ造、平屋建て

(4) その他

- ① 東京アクアティクスセンターで使用された椅子（約30脚）を設置
- ② 閉鎖管理のため、全周フェンスで囲い施設管理
- ③ 夜間利用のため、照明設備を設置



2 意見交換会

利用者ニーズを把握し、整備内容に反映させるため、堀米選手関係者等を交え意見交換会を実施。

3 管理運営

指定管理者制度を導入予定

4 整備充当費用

施設整備に要する費用の一部として、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる寄付金を募集

(募集期間：2/3～10/31、目標寄付金額：5,000万円)

5 事業スケジュール

令和4年6月 工事開始予定

10月 条例改正案の提出（江東区夢の島総合運動場条例）
工事完了

11月 オープニングイベント開催、一般利用開始

